

科目名	ビジネスプレゼンテーション 2							年度	2026
英語科目名	Business Presentation 2							学期	後期
学科・学年	スポーツ健康学科 スポーツビジネスコース 1年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	小松雅樹	教員の実務経験		有	実務経験の職種		プロスポーツチーム		
【科目の目的】 効果的なプレゼンテーションに求められるプレゼンテーション資料の作成方法に関する様々なスキルを学びます。									
【科目の概要】 プレゼンテーションで使用するソフトウェア（パワーポイント、Excelなど）の基本機能の理解と使用方法を習得することを目指します。また、プレゼンテーションスライドの構成原則を学びながら、メッセージの明確化、ストーリーテリング、視覚的情報の活用（画像、図表、グラフ、動画など）といった効果的なプレゼンテーションのためのスキルを習得します。									
【到達目標】 到達目標 A：視覚的なデザインに必要な要素（レイアウト、フォント、カラースキーム含む）を理解し、魅力的でわかりやすいスライドが作成出来るようになる。 到達目標 B：効果的なプレゼンテーションのために、適切な画像、グラフ、図表、動画などのコンテンツを選び、プレゼンテーションスライドに組み込むスキルを習得する。 到達目標 C：聞き手が情報を追いやすように提供するトピックを適切にまとめ、一貫性のある適切なスライド遷移のためのスキルを習得する。 到達目標 D：プレゼンテーションの目的を明確にし、簡潔にメッセージを伝達するためのストーリーを構築することが出来る。 到達目標 E：幅広い聴衆に向けたプレゼンテーションを提供するための配慮が出来るようになる。									
【授業の注意点】 ・遅刻・欠席については学校に必ず事前連絡をするようにしてください。無断での遅刻・欠席は成績評価に影響するため注意してください。・授業内において教員から指示された検索作業等を行う場合以外は、授業中の携帯電話の使用は基本的に禁止します。・授業内における私語、その他の不適切な行動について注意されたにも関わらず指示に従わない場合、授業進行の妨害行為とみなして退出を命じることがあります。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル 3 優れている			レベル 2 ふつう				レベル 1 要努力	
到達目標 A	視覚的なデザイン要素を理解した上で、魅力的でわかりやすいスライドが作成出来るようになる。			視覚的なデザインに必要な要素（レイアウト、フォント、カラースキーム含む）について理解出来た。				到達目標の達成度として不十分	
到達目標 B	適切な画像、グラフ、図表、動画などのコンテンツを使って、効果的なプレゼンテーションスライドを作成することが出来た。			効果的なプレゼンテーションのための適切な画像、グラフ、図表、動画などのコンテンツ選択が出来た。				到達目標の達成度として不十分	
到達目標 C	聞き手が情報を追いやすようにトピックを適切にまとめ、一貫性のある適切なスライド構成と進行が出来た。			聞き手が情報を追いやすように提供するトピックを適切にまとめることが出来た。				到達目標の達成度として不十分	
到達目標 D	プレゼンテーションの目的を明確にし、メッセージにストーリー性を加えることが出来た。			伝えるべきプレゼンテーションの目的を明確にすることが出来た。				到達目標の達成度として不十分	
到達目標 E	幅広い聞き手がプレゼンテーションにアクセス出来るよう、情報提供のための具体的な対策を取ることが出来た。			幅広い聞き手に向けたプレゼンテーションを提供するための配慮が出来た。				到達目標の達成度として不十分	
【教科書】 授業に必要な教材資料等については教員にて準備・配布する。参考書等を使用する場合には授業内にて指示する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 成績評価については、筆記もしくはレポートによる試験結果（中間/期末/定期的な提出物など）30%、授業中の参加姿勢/学習意欲（リーダーシップ、積極性、学習に対する向上努力など）30%、出席状況40%とし、授業内における達成度・到達度を総合的に判断して行います。なお、成績評価を受けるためには、全授業の75%以上の出席が必要となります。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		ビジネスプレゼンテーション 2			年度	2026	
英語表記		Business Presentation 2			学期	後期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価	
1	イントロダクション	目的に合わせたプレゼンテーションの理解	1	プレゼンテーションの目的とは①	プレゼンテーションの目的の理解	2	
			2	プレゼンテーションの目的とは②	対象とする聴衆が持つ要望の理解		
			3	プレゼンテーションの目的とは③	プレゼンテーションゴールの設定とメッセージの明確化の習得		
2	スライドデザインとスタイル	デザインとスタイルの基本の理解	1	デザインの基礎①	デザインの基本原則を理解する	2	
			2	デザインの基礎②	適切なレイアウト、カラー、フォントの選択		
			3	デザインの基礎③	レイアウトの整理とスライドマスターの活用		
3	スライドコンテンツ	スライドコンテンツの整理	1	スライドコンテンツ①	伝わりやすいメッセージの理解	2	
			2	スライドコンテンツ②	メッセージのストーリー化に必要な要素と構成の理解		
			3	スライドコンテンツ③	適切なタイトルと要点の書き方の習得		
4	グラフィクス	グラフィクスの活用	1	グラフィクスの使い方①	画像・図形の選択と編集	2	
			2	グラフィクスの使い方②	グラフ・図の挿入方法の理解		
			3	グラフィクスの使い方③	様々なグラフ・図の作成・編集・挿入方法の理解		
5	グラフィクス	グラフィクスの活用（階層図）	1	グラフィクスの使い方①	階層図の活用方法の理解	2	
			2	グラフィクスの使い方②	階層図の作成方法の習得		
			3	グラフィクスの使い方③	階層図の実用的な編集方法の習得		
6	グラフィクス	グラフィクスの活用（循環図）	1	グラフィクスの使い方①	循環図の活用方法の理解	2	
			2	グラフィクスの使い方②	循環図の作成方法の習得		
			3	グラフィクスの使い方③	循環図の実用的な編集方法の習得		
7	グラフィクス	グラフィクスの活用（組織図）	1	グラフィクスの使い方①	組織図の活用方法の理解	2	
			2	グラフィクスの使い方②	組織図の作成方法の習得		
			3	グラフィクスの使い方③	組織図の実用的な編集方法の習得		
8	グラフィクス	グラフィクスの活用（フローチャート）	1	グラフィクスの使い方①	フローチャートの活用方法の理解	2	
			2	グラフィクスの使い方②	フローチャートの作成方法の習得		
			3	グラフィクスの使い方③	フローチャートの実用的な編集方法の習得		
9	グラフィクス	グラフィクスの活用（マトリックス）	1	グラフィクスの使い方①	マトリックスの活用方法の理解	2	
			2	グラフィクスの使い方②	マトリックスの作成方法の習得		
			3	グラフィクスの使い方③	マトリックスの実用的な編集方法の習得		
10	グラフィクス	グラフィクスの活用（相関図）	1	グラフィクスの使い方①	相関・因果関係を表すマッピングの理解	2	
			2	グラフィクスの使い方②	相関図・因果関係図の作成方法の習得		
			3	グラフィクスの使い方③	マトリックスの実用的な編集方法の習得		
11	グラフィクス	グラフィクスの活用（因果関係図）	1	グラフィクスの使い方①	アクセシビリティの基本とガイドライン	2	
			2	グラフィクスの使い方②	多様なオーディエンスへの配慮		
			3	グラフィクスの使い方③	バリアフリーなプレゼンテーションの作成		
12	グラフィクス	グラフィクスの活用（グラフ）	1	グラフィクスの使い方①	グラフが示す意味と活用方法の理解	2	
			2	グラフィクスの使い方②	グラフの作成方法の習得		
			3	グラフィクスの使い方③	グラフの実用的な編集方法の習得		
13	その他の視覚的効果	アニメーションとインタラクティブ	1	アニメーションの活用①	様々なエフェクトとトランジション機能の理解と習得	2	
			2	アニメーションの活用①	ボタンとリンク機能の理解と設定方法の習得		
			3	アニメーションの活用①	インタラクティブ要素のデザイン		
14	プレゼンテーション技術	効果的なプレゼンテーション	1	プレゼンテーション戦略①	効果的なスライド順序と遷移設定の理解	2	
			2	プレゼンテーション戦略②	スライドノートとスピーカービューの活用		
			3	プレゼンテーション戦略③	スピーキングスキルの向上		
15	プレゼンテーションに関する注意点	プレゼンテーションのルールとマナー	1	プレゼンテーションの注意点①	著作権・ライセンス、適切な引用・出典の管理	2	
			2	プレゼンテーションの注意点②	プライバシーとデータセキュリティの理解		
			3	プレゼンテーションの注意点③	テストプレゼンテーションの実施とフィードバックの収集による改善		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等